

フラビウイルス共通のエンベロープ糖蛋白質第3ドメイン (ED3) の 変異型配列ライブラリーを用いた新型フラビウイルス検出法の 高速開発

課題番号：STSC20008
研究代表者：東京農工大学
教授 黒田 裕

・どのような技術シーズなのか： (1) 全てのフラビウイルス（デング熱、ジカ熱、日本脳炎等）が共通に持つエンベロープ糖蛋白質第3ドメイン（ED3; MW=11kDa）の配列に、将来起きる突然変異を情報科学的に予測した変異型ED3の配列ライブラリー（以下、予測変異型ED3ライブラリー）。(2) 予測変異型ED3ライブラリーを使用し、将来発生する変異型フラビウイルスの抗体検査及びDNAアプタマーによるウイルス検査法

・解決しようとしている顧客の課題： 昨今の新型コロナウイルス流行で見られるように、将来的に発生する変異型ウイルスに対する汎用的で高性能な検出法を迅速に開発するための基盤技術の開発が急務となっている

・提供するプロダクトやサービス： 予測変異型ED3の配列ライブラリーを基盤にした安価で簡便な新型フラビウイルスの検査法を高速に提供するための技術基盤（技術コンサルティング・受託研究・ライセンスを含むサービス）

